

JAITIとは、「財団法人日本農業研修協働財団」の英文、
Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundation
の頭文字の略で「ジャイチ」と呼びます。1989年、農業を
生活基盤とする、アジア・アフリカ諸国の農村地域社会の
人々が、「生きる糧料」の食料を安定確保することで、生
活の中に基礎的な教育と公衆衛生に目を向けるゆとりを持
ち、健康で、自立心豊かな地球上の「友」になることを願
って、活動が展開されています。

発行 (財)日本農業研修協働財団
住所 〒396-05 長野県小県郡武石村沖456
TEL0268-85-3465 FAX0268-85-3583

今日のジャイチ

ご支援下さっている方々へ、この誌面を通して、ジャイチの活動内容を、成る丈多くお知らせ致します。皆様の中で、より多くの現況を、ご想像いただけたら幸いに存じます。引き続きご協力下さい。

◆評議員改選

任期満了に伴い、評議員選任の理事会を、十二月十四日開催し、全員のみに、第三期評議員の就任要請をお願いしました。任期は、平成九年一月一日より平成十年十二月三十一日迄の二年間です。ジャイチに対する、ご意見、ご要望等を、評議員の

方を通して、出させていただく方法もあります。

◆流出入国準備金建設

基本財産として、財団設立と同時に寄附を受け、所有していた流山市の土地を事業に有効活用する目的で、支援する開発案として、送付する物資の集積・梱包作業・保管場所として、現地向かう奉仕者の、出入国時の、宿泊・休憩・自動車駐車場として利用可能な「出入国準備室」を建設することに決定し、建設業者へ工事発注も済ませ、建築確認許可が出るのを待っています。総額一、一五

カカニ農場を訪れました。

同日は、「NGO活動推進センター」の専門調査員、郵政省職員、国際ボランティア貯金の預金者代表などと、十三名の方々が、カカニ農場の整備状況、指導の実体、実績・研究の成果を調査し、預金者の皆様からの寄附金が、有効に生かされていることを、確認しました。昨年の、この調査団の感想が、日本全国の郵便局に備え付けられている、「財団法人国際ボランティア貯金普及協会発行の「クローバー」」第七号に掲載されています。機会ありましたら、ご覧下さい。

各理事より寄附金で実施します。

◆国際ボランティア貯金視察

「国際ボランティア貯金の寄附金の配分を受けて実施している援助事業」の現地調査団が、十一月二十四日、

カカニ農場は、ネパールの首都カトマンドゥに近いこと、松浦浩指導員が、五年に亘り定住して、農業技術移転の手法として、模範的支援事業を実施していることで、見学者が絶えません。ご支援下さる皆様と共に、誇り高く存じます。

◆ツェリン・シエルバ君、留学生奨学金を受ける

日本とネパールの架け橋人材を育てる目的で、四月より、東京YMCA英語専門学校日本語科に、ジャイチで受入留学させていた、

第3期評議員名簿

- | | |
|----------------|---------------------|
| 井出守雄 | 長野県小県郡武石村 豊農経営 |
| 岩崎吉一 | 東京都立川市 岩崎緑化代表取締役 |
| 氏原輝男 | 長野県上伊那郡南箕輪村 信州大学教授 |
| 工藤れい子 | 長野県上田市 上田市中道田小学校教諭 |
| 小林 弘 | 神奈川県大和市 小林歯科医院院長 |
| 戸塚 勇 | 東京都府中市 都市近郊型農業自営 |
| 林 淳一 | 長野県小県郡長門町 高原野果生産自営 |
| 松浦 浩 | 神奈川県足柄上郡大井町 ジャイチ指導員 |
| 森 精 | 東京都杉並区 元名城学院大学教授 |
| 由井直人 | 東京都文京区 味古木会長 |
| ロフサン・テンジン・シエルバ | 長野県駒ヶ根市 国際協力事業団 |

◆遊資支部開設

自前、遊資支部長と藤野二号からは、ジャイチの維持費で発送します。各地のパザー支援に、ご協力下さった方々、お疲れ様でした。売上上げばかりか、大勢の人々との触れ合いは、大収穫でした。本年も又、会場でお目に掛かれることを楽しみにしております。この六か月間の関係は、以下の三箇所でした。

◆遊資支部の連絡先

- 千五二〇一三三 遊資景
- ①上田駅ハートランドフェスティバル。八月三日、四日。(長野県上田市)
- ②国際協力フェスティバル。十月五日、六日。(東京)
- ③国際交流フェスタ。十一月三〇日、十二月一日(名)

野洲郡野洲町富坂乙三三三
・大高木勝則さん、一年五
か月間、武石の事務局で、
奉仕作業に携わって下さり、
ご苦労様でした。八月後半
古屋) (事務局 菊池)

ネパール情報

ネパールへの海外からの投資事情を、お届けします。◆政策と手続きの改善

ネパール幣二〇五三年度(西暦一九九六年七月十六日から九七年七月十五日迄)から、海外からの投資家は、ネパールでの大・中・小企業全てに一〇〇%までの、株式の所有が認められ、手続きも、簡素化されました。

◆会社の登記

海外からの投資家達は、有限会社、株式会社、いづれの形式でも創業が、認められます。

◆正式に許可される資本金

小規模での種々専門的諸問題の発生を避けるため、資本金は一千万ネパールピーを最低と定め、海外からの投資は、大・中規模企業で創業される事を、提案します。

◆投資部門

海外からの投資については、全ての分野で開かれています。

◆情報提供

この年に簡素化された、便宜と特典について、もっと詳しい内容を必要方には、お問合せ下さいれば、それぞれにご連絡します。

この項は、ジャイチネパールのマン・パハドール・シユレスタ支配人からの提供です。(文責・菊池)



この子供たちの働く姿を見て、「学童保育」の日本人職員は、「私の仕事は何なのだろう」と絶句した。

ネパールにおける ジャイチ

(財団法人 日本農業研修場協力団)
理事長 室賀 弥三郎



▲チトワンでサイに出会う

の長門町町長に、私が長野県上田東高等学校同窓会長として出席したときである。

私がジャイチを初めて知ったのは、平成六年七月十日に、前理事長小林茂夫氏

シンパンジャン学校は、昨年十二月に、四年目の学

年末を終了し、只今、年度替りの休みに入っています。

二月から新学期が始まり、新しい三十名の子供を迎え、一年生から五年生、各一クラス、合計百五十名の生徒が在籍します。

昨年、四年生の内から二名、結婚するために、学校を去りました。四年生と言っても、学校の無かった地に、ジャイチで学校を開校したので、九才から十五才の子供が、在籍していました。今年も女子の内から、結婚を理由に、学校を

学校 だより

三重津市の、三重経済専門学校の校長、安井将さんのご

理解、ご協力を得て、教室棟の建設費と備品一式全部の寄附を頂き、目標の施設作りを、予定通り実施可能となり、三月を完成目標に、工事を進めています。
(事務局 菊池)



私に理事長を引受けて貰いたいとの要請があった。私はそこで初めてジャイチと云う団体を耳にし、しかも、どんな事業をしている団体であるかも、全く知らなかった。そこで返事をすることが出来なかった。ところが翌日、副理事長と常務理事の二人で私の家を訪ねられて、ジャイチの設立の経緯並びに事業内容を説明され、私に理事長就任を強く要請された。そこで引受けすることになった。

しかし私は一度もネパールを訪ねたことが無く、会議の際に報告を受けたいが、実感として認識

私に理事長を引受けて貰いたいとの要請があった。私はそこで初めてジャイチと云う団体を耳にし、しかも、どんな事業をしている団体であるかも、全く知らなかった。そこで返事をすることが出来なかった。ところが翌日、副理事長と常務理事の二人で私の家を訪ねられて、ジャイチの設立の経緯並びに事業内容を説明され、私に理事長就任を強く要請された。そこで引受けすることになった。

私に理事長を引受けて貰いたいとの要請があった。私はそこで初めてジャイチと云う団体を耳にし、しかも、どんな事業をしている団体であるかも、全く知らなかった。そこで返事をすることが出来なかった。ところが翌日、副理事長と常務理事の二人で私の家を訪ねられて、ジャイチの設立の経緯並びに事業内容を説明され、私に理事長就任を強く要請された。そこで引受けすることになった。

しかし私は一度もネパールを訪ねたことが無く、会議の際に報告を受けたいが、実感として認識

私に理事長を引受けて貰いたいとの要請があった。私はそこで初めてジャイチと云う団体を耳にし、しかも、どんな事業をしている団体であるかも、全く知らなかった。そこで返事をすることが出来なかった。ところが翌日、副理事長と常務理事の二人で私の家を訪ねられて、ジャイチの設立の経緯並びに事業内容を説明され、私に理事長就任を強く要請された。そこで引受けすることになった。

私に理事長を引受けて貰いたいとの要請があった。私はそこで初めてジャイチと云う団体を耳にし、しかも、どんな事業をしている団体であるかも、全く知らなかった。そこで返事をすることが出来なかった。ところが翌日、副理事長と常務理事の二人で私の家を訪ねられて、ジャイチの設立の経緯並びに事業内容を説明され、私に理事長就任を強く要請された。そこで引受けすることになった。

私に理事長を引受けて貰いたいとの要請があった。私はそこで初めてジャイチと云う団体を耳にし、しかも、どんな事業をしている団体であるかも、全く知らなかった。そこで返事をすることが出来なかった。ところが翌日、副理事長と常務理事の二人で私の家を訪ねられて、ジャイチの設立の経緯並びに事業内容を説明され、私に理事長就任を強く要請された。そこで引受けすることになった。

私に理事長を引受けて貰いたいとの要請があった。私はそこで初めてジャイチと云う団体を耳にし、しかも、どんな事業をしている団体であるかも、全く知らなかった。そこで返事をすることが出来なかった。ところが翌日、副理事長と常務理事の二人で私の家を訪ねられて、ジャイチの設立の経緯並びに事業内容を説明され、私に理事長就任を強く要請された。そこで引受けすることになった。

里親だより 困っていること

稲垣 勇一

いまほんとうに困っていることがある。ネパールの少年から「日本のお父さん」といわれていることだ。全く時代遅れなのだが、私にとって外国は、物理的にも精神的にも今でもずいぶん遠い。冗談で家族にいつているのだが

金庫の鍵の飛行機や船が空を飛んだり、海に浮いたりするのって、許せないよな。そのくらいのもんだ。

もちろん、外国への憧れは子どもの頃からずっと持っていて、影響も強く受けていることは十分承知している。思慮ともいえるべきものもたくさん身内にもらっている。とりわけ、中国やモンゴル、インドなど四方への思いはなぜか以前からあった。多分、ネパールという国への関心もそんななかで小さく芽生えていたのだと思う。

私に理事長を引受けて貰いたいとの要請があった。私はそこで初めてジャイチと云う団体を耳にし、しかも、どんな事業をしている団体であるかも、全く知らなかった。そこで返事をすることが出来なかった。ところが翌日、副理事長と常務理事の二人で私の家を訪ねられて、ジャイチの設立の経緯並びに事業内容を説明され、私に理事長就任を強く要請された。そこで引受けすることになった。



▲ネパールの子ども、アディカリ君

私に理事長を引受けて貰いたいとの要請があった。私はそこで初めてジャイチと云う団体を耳にし、しかも、どんな事業をしている団体であるかも、全く知らなかった。そこで返事をすることが出来なかった。ところが翌日、副理事長と常務理事の二人で私の家を訪ねられて、ジャイチの設立の経緯並びに事業内容を説明され、私に理事長就任を強く要請された。そこで引受けすることになった。

私に理事長を引受けて貰いたいとの要請があった。私はそこで初めてジャイチと云う団体を耳にし、しかも、どんな事業をしている団体であるかも、全く知らなかった。そこで返事をすることが出来なかった。ところが翌日、副理事長と常務理事の二人で私の家を訪ねられて、ジャイチの設立の経緯並びに事業内容を説明され、私に理事長就任を強く要請された。そこで引受けすることになった。

私に理事長を引受けて貰いたいとの要請があった。私はそこで初めてジャイチと云う団体を耳にし、しかも、どんな事業をしている団体であるかも、全く知らなかった。そこで返事をすることが出来なかった。ところが翌日、副理事長と常務理事の二人で私の家を訪ねられて、ジャイチの設立の経緯並びに事業内容を説明され、私に理事長就任を強く要請された。そこで引受けすることになった。

私に理事長を引受けて貰いたいとの要請があった。私はそこで初めてジャイチと云う団体を耳にし、しかも、どんな事業をしている団体であるかも、全く知らなかった。そこで返事をすることが出来なかった。ところが翌日、副理事長と常務理事の二人で私の家を訪ねられて、ジャイチの設立の経緯並びに事業内容を説明され、私に理事長就任を強く要請された。そこで引受けすることになった。

私に理事長を引受けて貰いたいとの要請があった。私はそこで初めてジャイチと云う団体を耳にし、しかも、どんな事業をしている団体であるかも、全く知らなかった。そこで返事をすることが出来なかった。ところが翌日、副理事長と常務理事の二人で私の家を訪ねられて、ジャイチの設立の経緯並びに事業内容を説明され、私に理事長就任を強く要請された。そこで引受けすることになった。

私に理事長を引受けて貰いたいとの要請があった。私はそこで初めてジャイチと云う団体を耳にし、しかも、どんな事業をしている団体であるかも、全く知らなかった。そこで返事をすることが出来なかった。ところが翌日、副理事長と常務理事の二人で私の家を訪ねられて、ジャイチの設立の経緯並びに事業内容を説明され、私に理事長就任を強く要請された。そこで引受けすることになった。

私に理事長を引受けて貰いたいとの要請があった。私はそこで初めてジャイチと云う団体を耳にし、しかも、どんな事業をしている団体であるかも、全く知らなかった。そこで返事をすることが出来なかった。ところが翌日、副理事長と常務理事の二人で私の家を訪ねられて、ジャイチの設立の経緯並びに事業内容を説明され、私に理事長就任を強く要請された。そこで引受けすることになった。

私に理事長を引受けて貰いたいとの要請があった。私はそこで初めてジャイチと云う団体を耳にし、しかも、どんな事業をしている団体であるかも、全く知らなかった。そこで返事をすることが出来なかった。ところが翌日、副理事長と常務理事の二人で私の家を訪ねられて、ジャイチの設立の経緯並びに事業内容を説明され、私に理事長就任を強く要請された。そこで引受けすることになった。

私に理事長を引受けて貰いたいとの要請があった。私はそこで初めてジャイチと云う団体を耳にし、しかも、どんな事業をしている団体であるかも、全く知らなかった。そこで返事をすることが出来なかった。ところが翌日、副理事長と常務理事の二人で私の家を訪ねられて、ジャイチの設立の経緯並びに事業内容を説明され、私に理事長就任を強く要請された。そこで引受けすることになった。

今、カカ二農場では

長期滞在も早いもので五年目に入った今回、今までの総仕上げを目標として、八月より現在に至っております。

五月から十月までの雨季と前後の月別降雨量を観測後の四年間分をグラフにしましたが、六月から九月までは雨量を著たり増やしての農作業が多く、排水対策や除草が主となります。そして播種や定植作業の予定日が狂ってしまうのは、仕方がないとあきらめていきます。

五月と十月は、天候状況を見ての作業が中心で、天候予報と云いますか、見通

しが大切となってきますし、降雨状況により成績も大きく左右されてしまいます。

残りの十一月から四月までは、年により降雨量に差はありますが、概して天候が良く農作業は灌水が中心となります。特に三月から五月は、育苗作業も加わり忙しい時期となります。

また、畑の整備作業や岩石の除去などは、雨季には困難ですので十一月から四月の乾季を利用して行っています。

次に農作業ですが、現在乾季の主作目となりました。草は、試験栽培一年の後販売用としての栽培が四年目を迎えました。育苗期が雨季にあたるため、ポットの排水・目詰りに苦勞して

いました。今年は育苗土に砂を混ぜたり、EM菌利用による育苗土の作成などの試験を行ない、それなりの効果はありましたが、やはり例年のようにコガネムシ類の幼虫による被害は相変わらずでした。ポットの底に金網を敷けば少しは防げると思いましたが、排水・目詰りの問題もありますので、若干の被害はやむを得ないという考えに至っております。定植後すぐの被害株は植え直しができますが、結果後の被害は頭の痛い問題です。

ランナーを切り離した後、施肥と殺虫剤の散布を行ないましたが、育苗土に若干肥料の混合も必要と思われる。但し、肥料も尿素と

チソフ18・リンサン46の化成しかありませんし、連日の降雨のため、ゆっくり肥料があらわれて長持ちする緩効性肥料が欲しいところ。堆肥を細かくして育苗土に混ぜてみましたが、コガネムシ類の幼虫の被害がどうしても増加してしまっています。

定植は八月二十日から九月二日の間に、降雨の様子を見ながら行なうことができました。その後の除草やランナー取り、追肥などは例年とありますが、株間を狭く植えましたので、萌芽の整理の仕事が加わりました。十月中旬より収穫を行なっていますが、今年も栽培者も約二十名となりましたので、二十四日にスタッフ・研修生を中心に圃場巡回を行ないました。しかし、自己流で栽培している人もあり、細かい指導の必要性を感じました。現在、収穫と灌水を一日おきに行なっています。

サツマイモは、収穫もほぼ終了し、十一月下旬には種芋の貯蔵を行なう予定です。

ゴボウは、播種後の灌水が年により大変ですので、五月上旬と六月上旬の二回に分けて種まきを行ないました。一回目は播種後の灌水が大変でしたが、二回目は降雨もあり灌水は必要は

ありませんでした。結果として畑（土壌条件）による差が大きく、畑が限定されてしまったため、今後は小面積で栽培するように変更しました。

ありませんでした。結果として畑（土壌条件）による差が大きく、畑が限定されてしまったため、今後は小面積で栽培するように変更しました。

その他、三月播きのキャベツ・カリフラワー・ブロッコリー等は、五月の少雨に助けられて、昨年以上の成績で終了しました。六月植えのコールラビ（注）も良く、来年は数回に分けて栽培する事をスタッフと話し合っています。

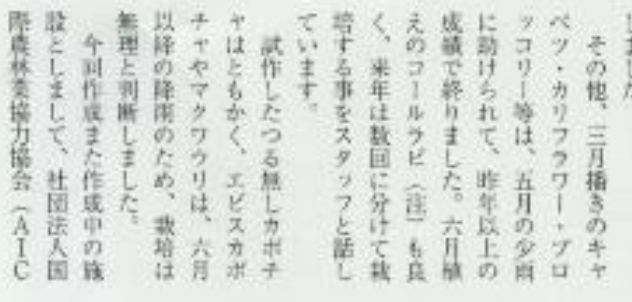
試作したつる無しカボチャはともかく、エビスカボチャやマクワウリは、六月以降の降雨のため、栽培は無理と判断しました。今回作成した作成中の施設としまして、社団法人国際農林業協力協会（AIC）

（注）コールラビ
日本名「蕪甘藍」
キャベツの一種で茎がカブのようになった部分を食べる。

（注）コールラビ
日本名「蕪甘藍」
キャベツの一種で茎がカブのようになった部分を食べる。

（注）コールラビ
日本名「蕪甘藍」
キャベツの一種で茎がカブのようになった部分を食べる。

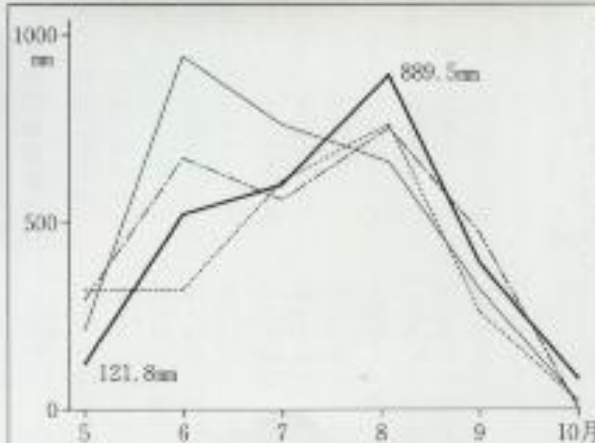
（注）コールラビ
日本名「蕪甘藍」
キャベツの一種で茎がカブのようになった部分を食べる。



▲8月の苗ポット管理(上)と9月の定植作業(下)



◀工事中の灌水用貯水タンク



カカ二農場の月別降雨量の比較

1993年 1994年 - - - -
1995年 ———— 1996年 ————

（注）コールラビ
日本名「蕪甘藍」
キャベツの一種で茎がカブのようになった部分を食べる。

ネパールの旅に参加して

河野路子

「ネパールへ行きたい」
 四年くらい前から、私の中にはネパールへの強い憧れがありました。ふとしたきっかけで今回のツアーに参加させていただき、まだ夢の様です。今回の旅は私にとって感激の連続でした。又、いろんな事を感じた旅でもありました。サランコットの丘へのトレッキングの途中見えた、せまりくるマチャプチャレ山や、マウシアンフワイトの時見たヒマラヤ連峰の全貌には感激、感激で「うわーすごい」が止まりませんでした。今でもあのせまりくる山々を前にした時の、ドキドキした感動は胸に波打っています。そして今回私がとても印象的だったのは、旅の途中出会った子どもたちでした。カトマンズからボカラウへ八時間のバスの旅の途中、いろんな村を通りまわると、体感でバスから降りると、かけよってくる子どもたち、「これを買って」とオレンジをさしたすばらの瞳は真剣でした。水がめが入った大きなかごを、はだして自分の家まで運ぶ子ども達にも会いました。そしてシンパンジャンの小学校

を訪ねた時、教室の中には子ども達の緊張がビシビシ伝わってきました。でも外では笑顔で元氣よく走り回っていました。どこで出会った子どもにも共通していたことは、みんなとても賑がきれいだっただけです。そしてこの子ども達は、小さいうちから働くことを知っていて、生きることに真剣さがあるように感じられました。日本の子ども達とは決められたレールを歩いていて、いざそのレールがなくなると、何をしたいのかわからない子が多いとよく言われます。事実私もその世代に育っています。ネパールで食べた子ども達は、しっかりと自分の足で大地をふみしめて歩いてい

るように感じました。私は子どもに関わる仕事をしていました。帰ってきて「ムカソク」「つまんねえ」とつぶやくこともある子どもたちにも、ネパールでの話をしました。身ものりだして「それで？それから？」と目を輝かせて聞かせることも遠がそこにはありました。みんな光る瞳をまわっていました。大変お世話になりました。そして本当に楽しい旅をありがとうございました。金は使ったつもりですが、ネパールへの熱い思いはますます強くなりました。また



▲筆者とサランコットの子どもたち

の食事。電灯は一日二、三時間の太陽電池。シャワーは水です。期間は、三ヶ月程度可能な方。
 ・場所 ネパールシンパンジャン学校
 ・ネパールの滞在生活費は、ジャイチで負担します。
 ・現地では、自炊又は、ネパール人スタッフと同一

「たずね人」
 次の方々への郵便物が届きません。新住所をご存知の方は、事務局までご連絡をお願い致します。カッコ内は旧住所です。
 ・時期 四月から随時
 ・場所 千葉県流山市
 ・福島県大玉村
 ・埼玉県本庄市
 ・埼玉県東武蔵野市
 ・東京都武蔵野市
 ・宮城一史・知子様
 ・長野県上田市

お知らせ
 京都圏他、各地で開催される、ジャイチのパザール・展示等の案内を希望される方は、事務局までお申込み下さい。記録しておき、都度お知らせ致します。
 第八回JAITI・ネパールの農場と学校訪問の旅参加者募集予告
 今年も実施します。ご希望の方は、今から日程を組んでおいてください。
 ・日程 十一月八日(出)十一月十六日(帰)
 ・費用 二十七万円を予定。これで、出国から入国まで、財布は不用です。
 集まっていますが、案内集が、旅行業者のバックツアーにはありません。開発途上国の実情を親でいただき、その上で人とのふれあいを皆様と共にいたしたいと考えています。

ご寄附のお願い
 ジャイチの活動を何れも心に留めて下さり、感謝申し上げます。意図されている財源その他について説明とお願いを致します。ご協力をお願い申し上げます。
 1. ジャイチ基金……財団法人ジャイチの基本的財源の確保
 基金を信託銀行・国債等で運用し、その果実(利息)でジャイチ活動の基本部分を確保することを目的としています。果樹のようなものです。基金が大きくなればなるほどジャイチの財源が安定します。基金へ寄付して頂いたお金は何十年何百年あともジャイチと共に樹木の蔭が残り続けます。
 2. ジャイチ維持費……ジャイチの運営維持費
 基金から生み出される財源では只今のところ活動に不足を来します。そこで今必要な活動に使わせて頂く目的のものです。一年単のような春植えて秋に収穫して終わります。一当分の間、この維持費はジャイチの活動に欠かせない費用です。
 3. ジャイチ事業費
 新たに大きい費用のかかる事業を計画した時にその応援費用として確保することを目的としています。通常の予算(ジャイチ基金の果実、ジャイチ維持費で組まれる)では足りない時に臨時に集める目的の寄附金です。必要な時に皆様にお願いのお知らせをさせていただきます。
 ジャイチでは上の3つのような形で寄附をお願いしております。何にご寄附下さったのか、お教え頂きますと幸いです。もしも特に指定のない場合は基金と維持費に半分ずつ使わせて頂きますのでご了承下さい。
 振込先 番号 { 郵便振付 00510-4-65434
 銀行振込 八十二銀行丸子支店(番) 43577
 口座名 財団法人日本職業研究協会の財源
 住所 〒386-05 長野県小県郡武石村456
 電話 0268-05-3455 FAX 0268-05-3583
 尚、金額に関しては規定がございませんので、お独りお独りご自分でお決め下さいますようお願い申し上げます。(例えば、収入の1%を、小遣の1%を、約な考えは如何でしょうか。)

車道がトレッキング道に沿って伸びてゆく。車道がでけるとトレッキングは、その村を素通りしてしまふ。村人は車を利用した生活に変わってゆくのだろうか。そして、時間には追われる経済第一主義にふり回されてゆくのだろうか。日本の轍を踏むのだろうか。昨年、ネパール政府は、外国からの投資を受け入れる措置をとり始めた。一ネパールファーマンの危惧に過ぎないことを願う。(武石村 暎)

編集後記